

2021 1 [Jan.] vol.166

セゾン投信 | お客様へのメッセージ

NEWS LETTER



長期投資仲間へのメッセージ vol.166

社会文化の転換が始まった

セゾン投信株式会社 代表取締役会長CEO 中野 晴啓

3つの取組み

セゾン投信株式会社 代表取締役社長COO 園部 鷹博

SPECIAL FEATURE

新年のご挨拶(社員からお客様へ)

運用結果のおさらい

FUSAコラム

買付・解約 受付不可日のお知らせ



社会文化の転換が始まった

代表取締役会長CEO 中野晴啓

皆さま、あけましておめでとうございます。社会全体がほとんど年間を通じてコロナ禍での様々な活動制約を余儀なくされた2020年でしたが、2021年は昨年が雌伏の期間となっており、新たな社会構造が実体経済の雄飛へと導く一年となることを大いに期待しています。

ウィズコロナでの生活環境がIT技術やDXによるサービス進化を劇的に促進させ、新常态と言われる生活スタイルを出現させたのは周知のことで、そうしたネットテクノロジーの普及もさることながら、もっと抜本的な社会文化の通念大転換への萌芽を伺いながら新年を迎えています。

昨年のダボス会議では現代資本主義のこの先に対する疑義から、「ステークホルダー資本主義」という新たなテーゼが提唱されました。ソ連消滅以降のグローバリゼーション経済は、売上拡大・利益至上の株主資本主義が席捲して、いわば数字必達が目化した企業活動を正義としてきましたが、その副

作用が優勝劣敗の価値観を正当化させ、持続不可能なレベルへの格差社会を現出させるに至ったわけです。SDGsの概念はそこへのアンチテーゼとして、人類社会全体の持続可能性に対する課題提起であると捉えられます。

国際機関から産業界へと共有の輪を徐々に広げてきたこの価値観が、コロナ禍真っ盛りの昨年にどうやら一般化へのムーブメントへと昇華し始めたようです。決して高尚とは言えないテレビのパラエティ番組でも、SDGsが若者世代のファッションとして話題になっているのを目にした時、これは一過性ブームとは埒外の社会共通課題として認識され始めていることを感じました。スーパーやコンビニのレジ袋が有料化され、生活者ひとりひとりが可能な範囲で努力する姿勢が、オシャレでカッコいい普遍的常識として浸透し始めたと言えましょう。

そうならば畢竟、産業界はそこへの付加価値提供を事業成長のメインストリームとしたビジネスモデルの適応競争を本格化させるはずで、社会の持続性へと貢献する製品やサービス提供が、事業価値の成否を左右するステージに入ったということで

す。そして新たなる競争原理は、企業組織の社会的存在意義をビジョンとして示現するガバナンス(経営統治)力に依拠されることになるでしょう。企業における事業理念・哲学の体現は、すべからくガバナンスによって決することになります。

強い企業は高度な経営統治力によって構築される。新たな経済成長の糧となるであろうビジネスの社会持続性への貢献と、その積極的受容へと動き始めた社会文化の転換を先取りして行動すべきが資産運用会社の社会的使命であり、そこへの資金供給にこそ次なるリターンの源泉が内包するとの確信から、セゾン投信の長期投資の旅は2021年をその元年と見据えて進んでまいります。

3つの取組み

代表取締役社長COO 園部鷹博

新年あけましておめでとうございます。

2009年以降、10年以上にわたり上昇が続いている世界の株式相場は新型コロナウイルスを契機に下落相場へ転じるかと思われましたが、結果的に2020年も総じて堅調な結果となりました。世間では割高である、バブルであるとの意見も出ている状況をどのように捉えれば良いのでしょうか。先ずバブル景気とバブル相場は異なることを理解しておく必要があります。わたしたちが日々の暮らしのなかで好景気を実感できるバブル景気は起こっていません。この場合は大企業、とりわけ景気敏感株が上昇しますが、現在は特定のテック企業を中心とした株価が上昇している状態です。したがってバブル景気ではなく、バブル相場が形成されつつあると理解しておいたほうが良いでしょう。

そしてこの流れは2021年も持続するどころか、ますます加速していく可能性があります。

- 各中央銀行による金融緩和策継続

- 新型コロナワクチンによる経済正常化、業績回復の過度な織込み
- 米民主党政権1年目の株高期待(アノマリー)
- 新興国、特に中国の制度改革などに対する市場の評価

これらがあいまって株価が上昇し本格的なバブル相場へ突入していく可能性は否定できません。そうすると早い段階から投資を見合わせるべきなのか。このようにお考えになる方もいらっしゃると思いますが、それは賢明な判断ではありません。バブル相場の大きな上昇の波に乗っておくこともときには必要ですし、果たしてバブル相場がいつ崩れるのかも当然ながら神のみぞ知るです。だからこそ、どのような状況が起ころうとも積立投資を継続することが大切ですし、長期投資＝生涯投資と位置付けて常に一定程度以上の金融資産を投資の波に乗せておくことが求められます。

さて、皆さまと共に歩むセゾン投信の2ファンドは2021年3月に運用を開始して14周年を迎えます。さらにその1年後に迎える節目の15周年に向けて次の3つを重点的に取り組んでまいります。先ずは運用会社としてこれまで以上にファンド運用の質向上や体制強化を行います。同時に皆さまが長期資産形成を安心して続けていただけるよう情報提供のわかりやすさを追求します。そして直接販売にてお取引をいただいているお客さまの利便性、特にシステム面において改善に着手します。システム面においては当社の課題として認識していましたが、当社の企業規模にしては多大な費用負担が生じるため行動に移すことが困難でありました。まだ潤沢な資金を持つ企業規模ではありませんので時間を要すことにはなりますが、皆さまにとって身近であり利便性の高いセゾン投信として手を休めることなく突き進んでまいります。

どうぞ本年もよろしく願いいたします。

(2021年1月1日)

新年のご挨拶

今年もセゾン投信管理職一同から皆さまへの所信表明をお届けいたします。(順不同)

瀬下 哲雄 (運用部部长・ポートフォリオマネジャー)

2020年は、多くの皆さまと同じように年初に想像していたのと全く違った一年となり、日々の仕事の進め方が変わっただけでなく、資産運用を取り巻く環境に大きな変化があった1年でしたが、改めて変わらないものや変えてはいけないことを認識した年でもあったと思います。

今年も、自分ができることとできないことの違いをきちんと見極めたくて、複合的な視点を持つことや統計的に合理的な評価を行うことを意識しながら、投資の基本に忠実に運用業務に取り組み、自分も少しずつ進化していければ良いと考えています。

片多 容助 (内部監査部部长)

昨年、膝を悪くして、日課としていた早朝のジョギングをしばらくの間中断しました。体重が急増し、ゆっくりとしか歩けません。

当社はお客さまに対し「いそがないで歩こう」と呼び掛けています。しかし、金融界が大きな変革期にある中、私たちまでゆっくり歩いているのは、お客さまに最善のサービスをお届けすることは出来ません。

今年のリハビリに励み、軽いフットワークで当面する諸課題に取り組んでまいります。

犬山 達彦 (事業推進部担当部長)

昨年は、「コロナ禍」における生活様式に順応しなければならず、日々の行動にも制限がかかった1年でした。そのような中、セゾン投信と共に「長期投資」を広めていくパートナーとして新たにお迎えした「販売会社」の皆さんを中心に、非対面ツールも活用しながら、お会いする機会を本当に数多くいただきました。「チョコハン」と同様、販売会社の皆さん、そしてその先にいらっしゃるお客さまに寄り添い、1人でも多くの方々に「セゾン投信ファン」になってもらえるよう、今年も仕事に邁進していきたいと思っています。

小野寺 明子 (経営企画部担当部長)

これまでの経験から「できないだろう」「苦手だろう」と思っていたことが、些細なことがきっかけとなりあっさりできたり、もしかして最初から得意だったのでは、ということが最近よくあります。年月による私自身の変化も多少はあるかと思いますが、長く自分と付き合ってきた、案外自分のことはわからないものです。ただ一つ。わかったことは「思い込み」はもつたないということ。「まあ、やってみるか」くらいの気軽さで、気負わず、オープンマインドでいたいと思います。

太田 玄 (管理部部長)

普通に就職して、普通に結婚して、子供が生まれ、その子供も今年には就職です。もう一人も学生生活はあと1年です。ある調査によると、夫婦2人と子供2人が「普通の暮らし」を送るためには30代なら月48万6900円、40代なら54万9800円、50代なら70万7500円が必要だといえます。「普通」は贅沢になってしまったのでしょうか。私の場合、子供が一段落すると、次は老親と向き合います。いつまでたっても「普通」に暮らすのが精いっぱいかもしれませんが、今年も健康で穏やかな気持ちを忘れずに過ごしたいと考えています。

廣江 哲直 (コンプライアンス部部长)

最近、周りで「お金について知りたい」という人が増えているように思います。自立して働いている女性とか、仕事を始めたばかりの青年とか…

「どの株が儲かる?」、といった話題ではなく、「お金がどう回ると良いエネルギーが生まれるのか?」、「復利のスゴさって何?」という話に興味に向いているのは、令和時代の変化かもしれません。世はSDGsブームの様相ですが、今更言われるまでもなく、「全ての人にとって持続可能な程度の経済的成長を望む人」が確実に増えていると感じます。セゾン投信の役割は、この後押しだな、と決意を新たにした新春です!

松村 里江子 (運用部担当部長・アナリスト)

今春、娘が小学校に入学します。いつもそばにいた娘が1人で歩いて通学することを想像するだけで心配でたまりません。その私に今年必要なのは、少しの子離れとライフステージの変化への適応です。信じているからこそ見守る、それができれば穏やかな気持ちで日々過ごせるのではないかと思います。仕事につきましては、引き続きみなさまの長期的な資産形成のお役に立てるよう、丁寧に業務を行ってまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

大関 順 (HR Manager)

サブスクリプションのサービスが目立った昨今。私もコロナの影響もあり複数のサブスクを契約しています。その結果、所有するという概念がなくなり、不要と感じればサービスを解約する。まさに、顧客満足度の追求されたサービス。つまりは、ユーザーを飽きさせない、継続的に満足してもらえ仕組みづくりが重要なんだと考えさせられました。金融業界も同様に顧客満足度の追求された新しいサービスを提供しなければと、改めて重要さを感じています。

庄司 泰子 (管理部担当部長)

冬の晴れた空は天色というのでしょうか、青が鮮やかに濃く、見上げると、胸を拡げてその空に向かい合いたい気持ちになります。寒いのは苦手ですが本当はじりじりと暑い夏が好きですが、凜とした冬の空には新しい世界への窓が開いている気がします。バックオフィスである管理部の業務は定型のものが一定割合を占めますが、安住することなく新しい挑戦をなさいという空の声が聞こえます。仕事を離れても毎日の繰り返しに満足してはいけな、と空が言っています。突き詰める価値のある課題を選び出し、10年、もっと掛けてもいい、課題に対する結論を文章に纏めたいと考えています。

房前 啓明 (FCP代表/セゾン投信エグゼクティブアドバイザー)

今年で暦が一回りします。昔は長寿のお祝いだったのでしようが、人生100年時代にあっては、その意味するところも変わっているのでしょうか。人からは変わりませんねとよく言われますが、自覚としては能力の低下はひしひしと感じますし、出張後の疲労感もきつくなってきました。暦は一回りしても身体は生まれたときに戻れるわけではありません。せめて精神年齢くらいは若くありたいと思いますが、この点についてはかなり自信があるつもりです。(笑)

工富 功 (ダイレクトマーケティング部担当部長)

昨年は、何年も使ってきたツールが気付かぬうちに機能が増えていて、今までより大きく作業を効率化できることに気がきました。スマートフォンの進化が速いように自分の周りにあるものすべてが、確実に日々便利に進化しているようです。スキルも日々アップデートしていかないとどんどん時代遅れになってしまうという焦りを感じたので、昨年の延長で仕事をすることだけではなく、新しいことへの挑戦とこれまでやってきたことに見直しできることがないかを改めて検証する一年にしていきたいと思います。

比嘉 保秀 (IT Manager)

新しい情報や知識を得るためにセミナーやカンファレンスへ参加することがあります。昨年は新型コロナウイルスの影響でオンラインでの参加がほとんどでしたが、オンラインは移動コストがかからないことやアーカイブを好きなタイミングで見ることができるなど大きなメリットを感じました。ただ、部屋にこもる時間が長くなった現状では、モニターを眺めるのではなく会場を訪れることでストレスを発散させたいと思うこともあるので、一日も早くコロナが終息し自由に行動できるようになることを祈っています。

津田 由理子 (広報部部長)

昨年は外出自粛やテレワークで、自宅での時間の使い方がいかに集中力を維持するかを考え工夫して過ごした1年でした。社内のチームで、いまはWEBサイトのリニューアルとリブランディングに取り組んでいます。当社のキャッチコピー「いそがないで歩こう。」は、私たちの気持ちがたくさん詰まった創業当初から掲げ続けてきたワードで、多くのみなさまに共感していただいています。直接販売をする運用会社として、ひとりでも多くの方が幸せな将来を築けるよう、信頼できる商品と投資行動の啓発をサイトで表現していきたいです。

北里 円 (顧客サービス部担当部長)

私事ですが、昨年6月より担当部長として部長を支える立場となりました。長らく、いちプレイヤーとして働いてきたため、マネジメントは分からないコトだらけの中、色々な方からあたたかい励ましと適切な助言をいただきながら日々の業務に取り組んでおります。新たな年を迎え、今年は「八面玲瓏」を目標に、自分らしく、でも八方美人にならないよう日々精進してまいります。セゾン投信は今年も、少しでも皆さまのお役に立てるよう、努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

鈴木 隆雄 (内部管理アドバイザー)

2020東京オリンピック・パラリンピックが、コロナ禍によって延期を余儀なくされるなど、コロナで終始した一年だった。そんな中、12月5日には、小惑星探査機「はやぶさ2」が小惑星「リュウグウ」から採取したであろう物質やガスが詰まったカプセルを持ち帰ったとのニュースがもたらされた。さらに、はやぶさ2は、新たなミッションを与えられ、即日、旅発っている。想定外の出来事であれスムーズに対応するお手伝いをするのが私のミッションであり、成果は結果が全てと認識し、今年もまた努めたい。

市本 宏 (経営企画部部長)

人前で楽しく話ができるようになりたい一心で、ラジオを聞き始めました。今では、お気に入りの番組が出来たり、その番組のパーソナリティの芸人さんが大富豪の御曹司で、地元が近所と分かったり、向上心のつもりが、すっかりリスナーとなって楽しんで聴いています。ラジオはいつもスマホで聴いていますが、そのアプリのキャッチコピーが「世界を広げる、音がある。」、いい言葉ですね。昨年は当社のキャッチコピーを考える社内会議に参加し、その際に教えを受けた「考える」心構えは、あきらめず粘って絞り出すことだそうです。今年も粘りの1年にしようと思う今日この頃です。

福田 隆 (事業推進部部長)

「チューニング」お笑い第7世代が面白い。『ぺこぱ』や『霜降り明星』など、新しい感性を武器に生き馬の目を抜く世界でスターダムへと駆け上がっている。新しい価値観や感性が次から次へと形成されていく世の中で、自分自身の感性も定期的なチューニングが必要だ。今年は改めて「古きを温め新しきを知る」を実践していきたい。お笑いであれば、まずは落語からか。上方の桂枝雀を聴いてみよう。なんと秀逸なサゲで笑えるらしい。「サゲで笑える」を10回唱えてみてください。「サゲで笑える」に聞こえてきませんか?今年はその心持ちでまいりましょう!御後が宜しいようで。

山崎 結衣 (顧客サービス部部長)

セゾン投信に勤めて10年が経ちました。十年一昔とはよくいうもので、入社時を振り返ると、自分を取り巻く環境も立場も大きく変化しました。お客さまからのお問い合わせや手続きを担当しており、お客さまが当社へ抱く想い、期待の言葉に触れるたびに、誠実でありたいという気持ちは変わりません。今年もどんな変化があるかわかりませんが、入社時から大切にしているお客さまに寄り添う姿勢「お客さま本位」の理念を軸に、「お客さまの資産形成のためにあるべきか」を心で唱えて仕事に邁進します。



テレワーク中



運用結果のおさらい

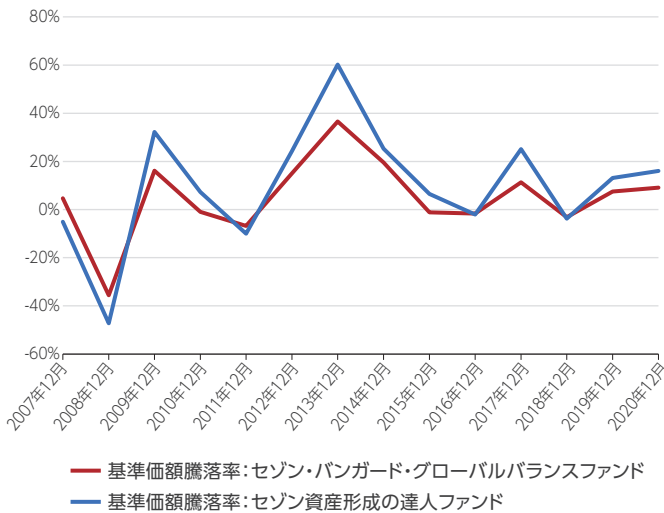
2020年12月10日に第14期ファンド決算を行いました。
今回は2007年第1回決算から今までの歴史をおさらいしてみましょう。

第14期決算 2020年12月10日	セゾン・バンガード・ グローバルバランスファンド	セゾン 資産形成の達人ファンド
基準価額 (円)	16,651	26,279
純資産総額 (億円)	2,302	1,238
期中の基準価額騰落率	9.1%	16.0%

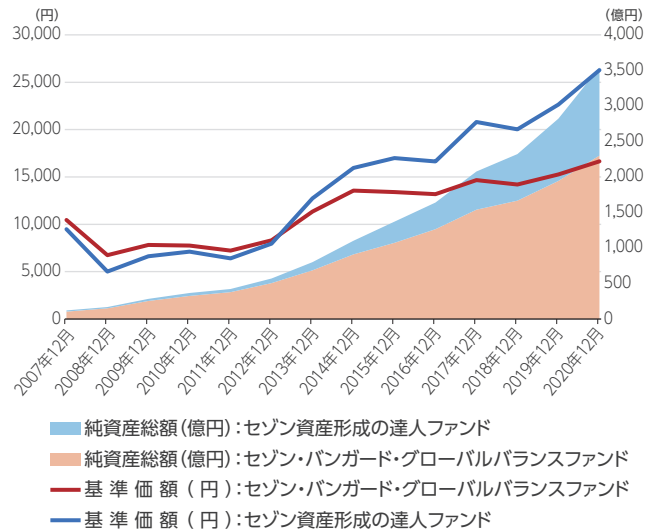
運用資産総額
3,500億円
達成!



■ 基準価額騰落率推移



■ 基準価額と純資産総額推移

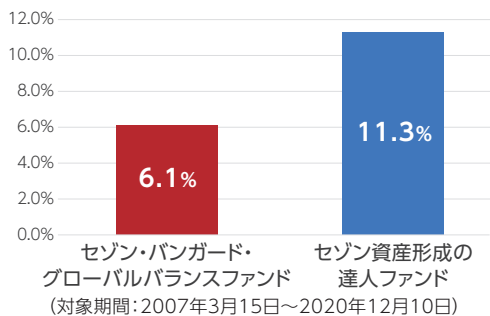


設定来からの決算日推移 (対象期間: 2007年12月10日~2020年12月10日)

基準価額騰落率だけをみると年によって乱高下しているように見えますが、単年の騰落率に関わらず、リーマン・ショック以降、基準価額、純資産総額が右肩上がりに成長していることが読み取れます。1年間だけの騰落率を気にするのではなく、長い期間を通して成長を続けていることを確認することが長期投資には必要です。

インベスターリターン (金額加重収益率)

■ インベスターリターン (年換算)



今期は2ファンドともに決算日の基準価額が設定来高値だったため、セゾン投信のすべてのお客さまの収益が理論上プラスとなりました。

しかし投資家が実際に得た収益は売買のタイミングによって異なります。

「インベスターリターン」とは実際の投資行動の結果、投資家が得た平均的な収益率のことです。「セゾン号」乗客の皆さまが長期保有を続けていることで、インベスターリターンは安定しています。

※当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。

どうしたら損しない投資ができるか①

投信業界を少しでも変えることができたら、という思いで独立

セゾン投信の受益者の数も15万人近くまで増えて、WEBセミナー等の出席者のニーズや興味も多様になってきているように感じます。質問も多岐にわたるようになり、時には専門家はだしのようの方も見られるようになりました。それでも、私がセミナー等で話すことの内容はセゾン投信の設立当時からほとんど変えていません。何回も参加してくれる方には、毎度同じ話で申し訳ないと思っはいるのですが、あえて変えていません。なぜなのか。そのあたりの私の考えを今月から7回にわたって書きたいと思います。

私は新卒で証券会社に入社し、その後アメリカの投信会社の日本子会社で約13年働きました。その間ずっと自問自答していたのは、自分のやっていることは人のためになっているのだろうか?という疑問でした。当時、投資信託なんて買っちゃあいけないもの扱いだった訳で、そんな仕事をしながら当然の思いを抱いていました。そして、この業界を少しでも変えることができたらという思いで(今となってみれば、無謀な行為でしたが)、投資信託の銀行での販売が始まると同時に独立したわけです。

当時いろいろな銀行の方と話をして感じたことは、銀行員も投資信託業の明るい将来を確信していたということです。みんな口癖のように、「私たちは、証券会社とは違いますから、あんな営業はしません。大丈夫です。」と語っていたのをよく覚えています。

しかし、あれから20年たつてわかったことは、結局のところ銀行も証券も同じだったということでした。



■ 房前 督明氏 (ファンド・コンサルティング・パートナーズ (FCP) 代表)

1986年東京大学法学部卒。1992年イリノイ大学ロースクール修士課程終了。山一証券、インベスコ投信投資顧問において商品企画や直接募集業務などの責任者として携わる。その後独立し、1998年ファンド・コンサルティング・パートナーズ (FCP) を設立、代表に就任。独立系直販モデルを熟知する第一人者でセゾン投信設立にも力を尽くす。現在は投資信託等の証券関連業務コンサルティング、またセゾン投信のアドバイザーとして従事する一方、講演や執筆活動でも活躍。


※本コラムは過去のメールマガジンで配信した「房前さんの投信を考える」を編集して掲載しています。

買付・解約 受付不可日のお知らせ (2021年1月6日～2021年2月3日)

下記は2021年1月6日現在の当社取扱いファンドの休日(海外休日等)の情報です。
海外休日等は日本の営業日の場合でも、信託約款に定める申込不可日としてご注文を受付することができません。
海外休日等にいただいたご注文は、「翌営業日」を注文日として承ります。

●セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド ●セゾン資産形成の達人ファンド

買付・解約 受付不可日

1月18日(月)..... キング牧師記念日 ▶ 

上記は信頼できるとされる資料に基づいて作成されていますが、その正確さや完全さに対する責任を当社が負うものではありません。各地の休業日は都合により変更されることがあり、上記もこれを反映すべく予告なしに変更される場合がありますので予めご了承下さい。

今月の積立購入での約定日

1月21日(木)



今年の四字熟語



セゾン投信では毎年、会長CEO中野が「今年の四字熟語」を社内に発表しています。
1年の心構えを内包する四字熟語を共有することで社員一同、方向をそろえて邁進していきます。

けん ど ちょう らい
捲土重来

昨年は新型コロナウイルス一色で精神的にも経済的にも閉塞感、停滞感に包まれた1年でした。
今年は改めて足元を固めて一気呵成に駆け上がっていく年にしていきたいと思います。

捲土重来とは? (三省堂 新明解四字熟語辞典より)

一度敗れたり失敗したりした者が、再び勢いを盛り返して巻き返すことのとたとえ。巻き起こった土煙が再びやって来る意から。▽「捲土」は土煙が巻き上がることで、勢いの激しいことのとたとえ。「重来」は再びやって来ること。もとは一度敗れた軍が再び勢いを盛り返して攻めて来ることをいった。

豆知識 唐の詩人杜牧が劉邦に敗れた項羽の死を惜しんで詠った『題烏江亭』に由来する故事成語です。烏江亭の亭主が再起を図るよう説得しましたが、項羽は亡くなった兵の親に合わせる顔がないとその勧めを断り自刎しました。



管理部 中野

スタッフのつれづれだより



顧客サービス部 清水

年 初に夢を立てることも多いと思いますが、私の当社での夢は「運用資産総額1兆円」です。これは入社面接の時に会長中野と一緒に目指すことを約束した夢でした。2016年に当社へ入社した時の運用資産総額が1600億円程度。それが今では3500億円を超えるまでに成長。たった4年で倍以上になっていることに驚くとともに、資本主義のダイナミズムを肌感覚で感じています。ここまで成長することができたのも、お客さまが当社のことを信頼してくださり、長期投資を忍耐強く実践してくださったお陰です。運用資産総額1兆円に到達するには、これまで以上にお客さまからの信頼を得なければなりません。その責任の重さを感じながら今年も変わらず長期投資を訴えていきます。

最 近、移動中や家の掃除、洗い物の時間等にお笑い芸人のラジオを聴くことにハマっています。これはお笑い芸人だけに限りませんが、ラジオを聴くことで、彼らの日々の仕事の裏側を知ることができます。テレビでその芸人が出ていると、ラジオで話していた過酷な口けはこれのことか!など話がつながり、新たな楽しさがあります。また、お笑い芸人のラジオではM-1グランプリなど賞レースの裏側を聴くことができます。これを書いている日の1週間後にM-1の決勝が生放送されますが、ラジオで芸人たちの熱い想いを聴いているせいか、出場者の如く緊張感のある毎日を過ごしています。ちなみに、私の好きな芸人は惜しくも準決勝で敗退しました。お笑い芸人のラジオ、おすすめです。

編集後記

2020年は、楽しみにしていた旅行やイベント、会食、ボランティア活動など、大小様々な交流が停滞し、コロナは日常生活に大きな影響を及ぼしました。緊急事態宣言による外出自粛、テレワークもそうですが、人生初の経験を挙げるなら出口の見えない鬱屈した気持ちに終始とらわれていたことです。とはいえ、いまこうして普通のくらしが続いていることも事実ですし、旅行にしろ、会食にしろ今までなんの支障もなくしていたことができなくなったことで、それ自体ありがたい気持ちになります。現状を打開する希望の光が差し込む兆しも見えてきました。今年は短期間でもリラックスできる旅ができたらいいなと思っています。(由)

表紙写真: 日本(本栖湖から望む富士山と初日の出)

こちらでもチェック! セゾン投信SNS

セゾン投信ではフェイスブック、ツイッターなどSNS等でも情報を発信しています。

セゾン投信のヒト(二代目社長)



初ツイート!



twitter (2020年12月22日)

https://twitter.com/saisonam_coo



■この資料は、セゾン投信の役員員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、勧誘を目的とした、セゾン投信の提供する「販売用資料」ではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類でもありません。したがって投資信託の購入、売却、あるいは保有を推奨するものではありません。■情報については、その正確性、信頼性、安全性等について保証するものではありません。過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを推測する指標ではありません。■この情報に関する一切の権利、義務は、その情報提供者(以下「情報提供者」)に帰属します。この情報の内容は、情報提供者の事由により変更されることがあります。■この情報は、閲覧者ご自身のものとし、転載、または、第三者への提供は禁止します。■このメッセージに掲載された情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任の下に行うこととし、万が一このメッセージの情報により、閲覧者が損失を被ったとしても、セゾン投信株式会社、ならびにその情報提供者はいかなる損害に対しても一切の責任を負うものではありません。■投資信託の取得を希望される方は、必ず販売会社が提供する投資信託説明書(交付目論見書)を十分お読みいただき、内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価格は変動します。その結果、購入時の価格を下回ることもあります。また、投資信託は、銘柄ごとに設定された信託報酬の他、信託財産に関する租税、監査報酬等の諸経費が掛かります。各投資信託のリスク、費用については投資信託説明書(交付目論見書)に詳しく記載されております。